

IDEMITSU MOTO4 ASIA CUP 2027

君こそがふさわしい!



今すぐに申し込もう!

IDEMITSU MOTO4 ASIA CUP

『IDEMITSU MOTO4 ASIA CUP(旧名イデミツ・アジア・タレント・カップ)』は、MotoGP™世界選手権やスーパーバイク世界選手権を運営するスペインの『MotoGP Sports Entertainment Group(旧名ドルナスポーツ)』がアジア地域及びオセアニア地域におけるライダーの発掘及び育成を目的に2014年に設立した大会。当社の育成プロジェクトリーダーであるアルベルト・プーチを中心に経験豊富なコーチ陣や技術スタッフたちが将来の世界舞台進出、そして活躍を目指す前途有望なヤングライダーたちを指導し、競争力ある本格的なロードレースを通じて育成を図る。

大会に参戦するには?

シーズン毎に選出されるライダー数は約20名。開催14年目となる2027年シーズンは、2026年シーズンにレギュラー参戦する中から選出されるライダーたちと、2026年10月27日と28日にマレーシアのセパン・インターナショナル・サーキットで開催されるセレクトイベント、選考会から選出されるライダーたちで構成される。選考会に参加するには、オフィシャルウェブからオンラインで申込み、選考委員会は申請された情報を参考に約100名のライダーたちを招待する。

大会概要

2026年シーズンは、『MotoGP™』の併催大会、サポートカテゴリーとして開催され、タイ、日本、インドネシア、日本、マレーシア、カタールで年間6戦、全12レースを実施。大会運営はワンメイクレースとして当大会で使用するバイク、ホンダ『NSF250R』を準備、レーシング装備を供給。アルベルト・プーチ指導の下、経験あるテクニカルスタッフたちがヤングライダーたちのセットアップをサポートし、習得して行く。大会運営は全てのイベントのロジスティック、セットアップ、医療保険、開催国内での移手段、宿泊を手配。参戦ライダーたちは航空券(大会運営手配)と食費を負担する。

レース未経験者の参加資格は?

生まれながらの才能と卓越したライディングスキルを持つ若きタレントの発掘を目指すことから、レース経験は重要でないが、程度のバイク走行経験が要求され、ダートトラック、モトクロス、スクーター、ミニバイクの経験、レーシングスクールの参加経験などが考慮される。



将来のレーシングキャリア

『MotoGP Sports Entertainment Group』は、大会で活躍する最も才能あるヤングライダーたちのレーシングキャリアを支援。初開催の2014年から2025年までに参加、そして活躍したライダーたちは、次のステップとなるレッドブル・ルーキーズ・カップやモトジュニア世界選手権に昇格。

そこで傑出したパフォーマンスを披露し、リザルトを獲得した将来有望なライダーたちは世界舞台へ進出を果たし、小椋藍は中量級王者として2025年から世界最高峰のカテゴリーである『MotoGP™』に参戦。佐々木歩夢、デニス・オンジュ、マリオ・アジ、セナ・アギウス、古里太陽は『Moto2™』、山中琉星、ハキム・ダニッシュ、三谷然、ヴァダ・プラタマは『Moto3™』にフルエントリーライダーとして参戦。世界舞台に昇格、そして上位進出という目標に向けて、着実なステップアップを果たすことに成功した。



www.moto4asiacup.com - info@moto4asiacup.com

セレクトイベント

2026年6月26日から7月26日まで
『www.moto4asiacup.com』から申込み

2026年8月25日
選考会招待者発表

2026年10月27日～28日
セパン・インターナショナル・サーキット選考会

応募基準

アジア地域及びオセアニア地域出身者参加国リスト
(www.moto4asiacup.com)

参加対象者の年齢は?
2006年1月1日から2013年2月1日までの間に生まれたライダー

